

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2022年2月22日

事業所名 放課後等デイサービスまきひら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		構造上、解消が難しい段差があり、職員が見守りと声掛けを行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			パート職員は参加できていない できるだけ全体に伝えるようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		日頃からコミュニケーションを密にとり、ニーズの把握に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価表の集計結果をホームページに掲載	ホームページにて掲載しているが、保護者の認知度が低い
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在のところ行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の他、定期的に外部の研修に参加	今年度も新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加が減少した
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者のニーズに偏らないように留意している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	保護者・児童との面談と行動観察により行っている	大阪市の「利用者調査票Ⅰ・Ⅱ」をベースに使用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童の課題に合わせた活動の立案を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日課の他、レクリエーションや季節行事を実施	児童によって支援内容が異なる為、固定化してしまうケースもある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中はおでかけやクッキングを実施	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			勤務時間により全員参加ができていないため、個別に申し送りを行うことがある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		参加できない職員との情報共有、記録保持の為、支援ノートを活用	非常勤職員は時間の都合で参加できていないことがある為、翌日に申し送りを行うことがある
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		情報共有、記録保持の為、日報の作成と支援ノートを活用	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している				相談支援を利用している児童がいない。他事業所との連携の為、今後は相談支援の利用を勧めていきたい。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					対象児童はいないが、障がい福祉サービス事業所の見学に行くなど、情報収集を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		講演会や研修に参加している		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			地域の公園でその場にいた子どもと一緒に遊ぶことはある	平日は児童館にでかけることが難しく、夏休みなどに取り入れていきたい	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会 JOTO児童部会に参加		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や面談時に伝えあっている		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭内での困りごとの相談や、対応の仕方の提案など行っている	児童のケースによって対応が不十分な場合や、伝えきれないことがある 講演会の案内などを行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		対面だけでなく電話やメール、ラインなどを活用している	「どこまで相談していいのか」と迷っているように感じることもあり、面談の機会を増やしていきたい	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○ 年3回、学期ごとに保護者交流会を開催しています	新型コロナウイルスの影響により中止 家庭での状況により、オンライン開催も難しい	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対面だけでなく電話やメール、ラインなどを活用している		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		長期休暇前はお知らせの配布、定期的にホームページの更新	行事予定がお知らせの中心になっている為、活動の概要や報告に力を入れたい	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書棚で管理しています		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		新型コロナウイルスの影響により中止

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		児童と職員で主に災害・防犯訓練を行っています	感染対策の改善を行った地震や洪水など災害発生時に保護者への連絡体制としてラインを登録
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		絵カードを使用してわかりやすく伝えて練習を行っている	全職員が参加してあらゆる災害を想定して訓練を実施した
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員会議や研修で定期的に虐待予防研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの聞き取りにより行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			